

# 中学歴史プリント（過去問類似）

## 人類の出現と文明

名前

得点

/9

**問1** 紀元前8世紀頃の古代ギリシャで成立した、市民が自立して運営する「都市国家」の名称と、同じ時期の日本の縄文時代において、豊かな収穫や病気の回復を祈るまじないのために作られた土製品の組み合わせとして正しいものを、次のうちから選びなさい。（2025年 京都公立入試 類似）

1. ボリスと土偶                      2. ボリスと前方後円墳                      3. カースト制度と土偶                      4. 甲骨文字と卑弥呼

**問2** 弥生時代に現れた青銅器と、奈良時代に現れた和同開珎。これら2つの資料の使われ方や目的の違いを説明したものと、最も適切なものはどれですか。（2014年 愛媛公立入試 類似）

1. 青銅器は狩猟の道具として実用的に使われたが、和同開珎は死者を弔うための副葬品として使われた。  
2. 青銅器は主に祭りの道具などの宝物として使われたが、和同開珎は国家の権威を示し、建設費用をまかなう等の目的で発行された。  
3. 青銅器は大陸との貿易を円滑にするための通貨であったが、和同開珎は国内の物々交換を禁止するために作られた。  
4. 青銅器は稲作の収穫効率を高める農具として使われたが、和同開珎は寺院を建立する際の地面を固める材料として使われた。

**問3** 古代のエジプト文明、メソポタミア文明、インダス文明、中国文明の四つの文明について、その成立に共通する地理的条件を説明したものと最も適切なものはどれですか。（2022年 和歌山公立入試 類似）

1. 農耕に適した肥沃な土地が得られる大河の流域で成立した                      2. 季節風の影響を強く受ける東アジアの沿岸部でのみ成立した                      3. イスラム教の教えを共通の精神的基盤として砂漠地帯で発展した                      4. 天体観測に基づき、すべての文明が太陽暦を主な暦として使用した

**問4** 紀元前1600年ごろの中国・殷王朝において、政治の指針を決める占いの結果などを記録するために用いられた文字は何と呼ばれますか。亀の甲羅や動物の骨に刻まれ、現在の漢字の原型となったものを次の中から選びなさい。（2020年 新潟県公立入試 類似）

1. 甲骨文字                      2. 楔形文字                      3. ヒエログリフ                      4. フェニキア文字

**問5** 南アメリカ大陸の西側に位置するアンデス山脈沿いの地域において、15世紀から16世紀にかけて繁栄した先住民の国家について述べたものとして正しい名称を選びなさい。この国家は、マチュピチュに代表される精巧な石造建築技術を持っていたことで知られています。（2022年 三重公立入試 類似）

1. インカ帝国                      2. モンゴル帝国                      3. ムガル帝国                      4. オスマン帝国

**問6** ムハンマドによって開かれたイスラム教の特色や、その後の広がり背景について述べた文として、最も適切なものを次の中から選びなさい。（2024年 愛知公立入試 類似）

1. 唯一神アッラーの前では全ての信者が平等であると説き、偶像崇拜を厳しく禁止した。  
2. ルイ14世のような絶対王政を支える理論として、ヨーロッパ全域に急速に普及した。  
3. スエズ運河を拠点とした海洋貿易の発展により、東南アジアから日本まで直接伝播した。  
4. 多神教の立場をとり、地域の伝統的な神々の像を寺院に安置することを推奨した。

**問7** 秦の始皇帝が、国内でバラバラだった文字や貨幣、度量衡（単位）を一つに統一した歴史的な背景や目的として、最も適切な説明はどれですか。（2017年 大阪公立入試 類似）

1. 広大な領土を一つの国家として効率的に統治し、税の徴収や命令の伝達を円滑にするため。  
2. 周辺諸国との大規模な朝貢貿易を開始するために、国際的な共通規格を作る必要があったため。  
3. 儒教の教えを全国に広めることで、民衆の道徳心を高めて犯罪を減らそうとしたため。  
4. 地方の有力者に独自の経済権限を与えることで、各地域の反乱を抑えようとしたため。

**問8** 18世紀後半から20世紀前半にかけてオーストラリアを統治し、メルボルンの街並みに見られるような石造りの建築物やキリスト教の教会といった、ヨーロッパの都市に見られるような景観を形成する要因となった国はどこですか。（2026年 奈良公立入試 類似）

1. イギリス                      2. アメリカ合衆国                      3. オランダ                      4. ポルトガル

**問9** 日本の歴史における文化財や出来事について、年代の古いものから順に正しく並んでいるものはどれですか。鑑真が関わった唐招提寺の建立、重源らが中心となった東大寺の再建、足利義政による銀閣（慈照寺）の建立、石見銀山などの銀鉱山の開発、徳川家康を祀る日光東照宮の造営という5つのトピックの前後関係を基準に考えなさい。（2015年 山口公立入試 類似）

1. 唐招提寺の建立 → 東大寺の再建 → 銀閣の建立 → 銀鉱山の開発 → 日光東照宮の造営  
2. 東大寺の再建 → 唐招提寺の建立 → 銀鉱山の開発 → 銀閣の建立 → 日光東照宮の造営  
3. 唐招提寺の建立 → 銀閣の建立 → 東大寺の再建 → 日光東照宮の造営 → 銀鉱山の開発  
4. 銀閣の建立 → 唐招提寺の建立 → 東大寺の再建 → 銀鉱山の開発 → 日光東照宮の造営

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> <b>ポリスと土偶</b>	古代ギリシャでは、地形の影響もあり、アテネやスパルタといった独立性の高い「ポリス（都市国家）」が形成されました。同時期の日本は縄文時代にあたり、自然の恵みを祈り、災いを避けるための呪術的な道具として、女性をかたどったとされる「土偶」が作られていました。前方後円墳は古墳時代、カースト制度は古代インド、甲骨文字は古代中国、卑弥呼は弥生時代の事象であるため、これらは不適切です。
問2	<b>答え 2</b> <b>青銅器は主に祭りの道具などの宝物として使われたが、和同開珎は国家の権威を示し、建設費用をまかなう等の目的で発行された。</b>	弥生時代の青銅器（銅鐸、銅剣、銅矛など）は、当初は武器の形をしていましたが、次第に大型化し、豊作を祈るなどの祭りの道具として用いられるようになりました。一方、奈良時代の和同開珎は、律令制のもとで国家の経済的基盤を固め、都の造営などの支出をまかなうために発行された貨幣です。資料の用途の変化は、単なる道具の進化ではなく、社会の仕組みが「村の共同体」から「統一国家」へと発展したことを示しています。
問3	<b>答え 1</b> <b>農耕に適した肥沃な土地が得られる大河の流域で成立した</b>	四大文明はいずれも、ナイル川、チグリス・ユーフラテス川、インダス川、黄河・長江といった大河の周辺で誕生しました。これらの地域では、河川の氾濫によって運ばれる肥沃な土壌を利用して大規模な農耕が可能になり、食料生産が安定したことで人口が増え、国家や文明が形成されました。東アジアに限られた特徴ではなく、イスラム教の成立は文明誕生よりはるか後の時代のことです。
問4	<b>答え 1</b> <b>甲骨文字</b>	古代中国の殷では、王が亀の甲羅や牛の肩甲骨に熱を加えてひび割れを作り、その形を見て神の意思を占っていました。その占いの内容や結果を骨に刻んで記録したものが甲骨文字です。これは物の形をかたどった象形文字であり、長い年月をかけて形が整えられ、現在の漢字へと発展しました。
問5	<b>答え 1</b> <b>インカ帝国</b>	南アメリカのアンデス山脈の高地に築かれたこの文明は、文字を持たない代わりに「キープ（結縄）」という紐の結び目で数字などを記録していました。車輪や鉄器、大型の家畜を持たなかったにもかかわらず、巨大な石を精密に組み上げる高度な建築技術や、広大な領土を結ぶ道路網を整備していたことが特徴です。
問6	<b>答え 1</b> <b>唯一神アッラーの前では全ての信者が平等であると説き、偶像崇拝を厳しく禁止した。</b>	イスラム教は、神の前での平等を説いたため、身分や部族の対立を超えて多くの人々に受け入れられました。また、目に見える形を持つものを神として崇拝することを「偶像崇拝」として厳しく禁じているのが、仏教や当時のキリスト教などと比較した際の大きな特徴です。
問7	<b>答え 1</b> <b>広大な領土を一つの国家として効率的に統治し、税の徴収や命令の伝達を円滑にするため。</b>	戦国時代の諸国が並立していた状態から一つにまとまった秦では、各地で異なっていた基準を統一することが急務でした。度量衡や貨幣を統一することで経済活動を安定させ、文字を統一することで皇帝の命令を正確に全国へ行き渡らせることが可能になり、中央集権的な支配を確立する基盤となりました。
問8	<b>答え 1</b> <b>イギリス</b>	オーストラリアは18世紀後半からイギリスの植民地となり、入植が進められました。その過程で、宗主国であるイギリスを中心としたヨーロッパの文化や建築技術が持ち込まれたため、現在もメルボルンなどの都市部には重厚な石造りの建物や教会が数多く残されています。
問9	<b>答え 1</b> <b>唐招提寺の建立 → 東大寺の再建 → 銀閣の建立 → 銀鋳山の開発 → 日光東照宮の造営</b>	奈良時代には唐の僧・鑑真によって唐招提寺が建立されました。鎌倉時代になると、源平の争乱で焼失した東大寺が重源らによって再建され、大仏様という建築様式が取り入れられました。室町時代（15世紀）には足利義政により東山文化の象徴として銀閣が建てられます。その後、16世紀（戦国時代から安土桃山時代）にかけて石見銀山などの銀鋳山開発が本格化し、江戸時代に入ってから徳川家康を祀る日光東照宮が現在の華麗な姿に造営されました。